

## 令和6年度 授業改善推進プラン 4年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な漢字の読み書きの習熟における差が大きいため、改善策が必要である。</li> <li>表現力が乏しいことにより、自分の思いや考えを文章にして分かりやすく伝えることができない児童がいるため、改善策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習や国語の時間に、漢字ミニテストやフラッシュカード等を利用したゲームの時間をとり、反復練習や漢字に触れる機会を確保する。</li> <li>朝学習や国語の時間に短作文を書かせることで、書くことに慣れさせる。また、書いた文章を共有させることで表現の幅を広げさせる。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算における計算技能が定着していない児童が一定数いる。桁数が増えることで更に誤答が増えていく実態がある。大幅な改善策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業クラスの習熟度に応じて、既習事項の復習時間を十分確保し、つまづきを未然に防ぐ。問題の答えだけでなく、解法について教え合う時間や伝え合う時間を確保することで、理解力を高める。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報整理のために適切な資料を選択し、資料から数値を正しく読み取ったり、変化の様子を文章で表したりすることが苦手な児童がいるため、改善策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やグラフ等の資料を多面的に捉え、考えを伝え合ったりまとめたりする活動では、根拠を明確にして書かせることで資料活用能力を高める。</li> <li>朝学習の短作文指導で、資料から読み取れることを文章化する機会を取り入れる。</li> </ul>	